

報告様式記入要領

1. 資料1の構成

- ・ 本資料は、自動車騒音の常時監視結果を記入する様式 1-1, 1-2, 2-1, 2-2, 2-3, 3-1, 3-2 を記入するに当たって、記入する方法、注意点等を示したものです。
- ・ 資料の構成は、下表に示す通りで令和3年度常時監視報告様式は、昨年度と同様の構成となっています。

本資料の構成

項目	内 容	ページ	備考
報告様式記入要領			
様式 1-1	環境基準達成状況の評価結果詳細（評価詳細）	p. 2	
様式 1-2	複数評価区間で重複計上の戸数再掲（評価重複再掲）	p. 8	
様式 2-1	騒音測定結果（道路近傍騒音）	p. 10	
様式 2-2	騒音測定結果（交通量関係）	p. 14	
様式 2-3	騒音測定結果（背後地騒音）	p. 16	
様式 3-1	評価結果の総括表（道路種類別）	p. 17	
様式 3-2	評価結果の総括表（市区町村別）	p. 18	

2. 各様式の報告に際しての留意事項（全体）

- ・ 環境省へ提出する際は、当該年度の様式を使用することとし、必ずチェックを行った上で提出して下さい。記入に際しては、記入フォーマットに従った記入をお願いします。
- ・ 空欄の様式がある場合でも一連の書式を揃えて提出して下さい。様式1-2は、複数評価区間で住居等を重複計上している地方公共団体のみ記入対象となります。
- ・ 平成29年度報告から、平成27年度道路交通センサス（全国道路・街路交通情勢調査）対応としました。但し、各地方公共団体のデータの移行状況を加味し、平成22年度道路交通センサスでの対応も受け付けますが、「騒音規制法第18条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について（平成23年9月14日環境省水・大気環境局長通知）」にも記載のとおり、監視地域に関する基礎調査は、原則として毎年行うものとされており、移行しない場合は最新の道路状況等が評価に反映されていない事について説明責任が伴うことに留意願います。平成22年度以前の道路交通センサスに対応している地方公共団体におかれましては、実行可能な範囲内で、速やかに平成27年度センサスに移行して頂きますようにお願いします。
- ・ 平成27年度道路交通センサスへの移行について、全ての評価区間を一括で更新することを推奨します。なお、平成27年度道路交通センサスへの移行が一度には困難であり、やむを得ず移行期間が複数年にまたがる場合においても、市、特別区、町、村単位では同一の道路交通センサス年度を使用するようにして下さい。
- ・ 平成17年度道路交通センサス（全国道路・街路交通情勢調査）については調査結果から相当年経過しているため原則として受け付けていません。

3. 報告様式の記入方法

様式1-1 環境基準達成状況の評価結果詳細（評価詳細）

- ・令和3年度常時監視結果に関し、環境基準達成状況の評価（面的評価）を実施した評価区間の詳細について記入して下さい。
- ・1評価区間につき1行ずつデータを記入して下さい。
- ・過年度に評価を実施した評価区間において、当該評価区間の沿道状況及び騒音発生強度の照査を行った結果、令和3年度においても変化が生じていないと認められた区間については併せて報告して下さい。※P6 参照

No.	項目	記入要領	記入フォーマット													
			型	使用文字	文字数	記入例										
1	一連番号	地方公共団体別に一連番号を評価区間ごとに記入して下さい。	整数	半角数字	6 字以内	15										
2	都道府県コード	「統計に用いる標準地域コード」（総務省-平成 31 年 3 月 25 日現在）に従い、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	2 字以内	17										
3	市区町村コード	「統計に用いる標準地域コード」（総務省-平成 31 年 3 月 25 日現在）に従い、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	3 字以内	203										
4	評価区間番号	市区町村ごとに評価区間番号を定め、当該区間における番号を記入して下さい。評価区間番号は、当該区間に固有のものとします。 ※この番号は、様式 2-1(2)、2-2(2)、2-3(2)において、同じ評価区間には、全て同じ評価区間番号を用います。	文字	半角英数字	15 字以内	101601										
5	評価の実施年度	当該評価区間を評価した（評価を更新した）直近の年度を西暦で記入して下さい。 例) ・ 2021 年度に当該区間の評価を実施 → 2021 ・ 2020 年度に当該区間の評価を実施し、今年度状況の照査をした結果、変化が生じていないと認められたので 2020 年度の結果を報告 → 2020	整数	半角数字	4 字以内	2019										
6	騒音発生強度の把握の方法	当該評価区間において、騒音発生強度の把握（騒音の測定）が行われたか否か、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。 <table><tr><th>コード番号</th><th>分 類</th></tr><tr><td>1</td><td>沿道騒音レベルの実測による方法</td></tr><tr><td>2</td><td>他の評価区間における騒音測定結果を準用する方法</td></tr><tr><td>3</td><td>自動車の交通量及び速度の実測結果により推計する方法</td></tr><tr><td>4</td><td>交通量が僅少の事由により、環境基準値以下と決定する方法</td></tr></table>	コード番号	分 類	1	沿道騒音レベルの実測による方法	2	他の評価区間における騒音測定結果を準用する方法	3	自動車の交通量及び速度の実測結果により推計する方法	4	交通量が僅少の事由により、環境基準値以下と決定する方法	整数	半角数字	1 字以内	1
コード番号	分 類															
1	沿道騒音レベルの実測による方法															
2	他の評価区間における騒音測定結果を準用する方法															
3	自動車の交通量及び速度の実測結果により推計する方法															
4	交通量が僅少の事由により、環境基準値以下と決定する方法															
7	評価対象道路① 評価対象道路②	評価対象道路について、下記(1)～(7)に従い記入して下さい。 ※ 評価対象道路が 1 道路の場合、①に記入して下さい。 ※ 構造上分離された複数の道路に面する場合、それぞれの道路の諸元を、①及び②に記入して下さい。 ※ ①及び②の双方に記入する場合、騒音測定地点に近い方の道路を①に記入して下さい。わからない場合は、「(3)道路種別」に示す番号が小さい方を①に記入して下さい。														

(1) 路線名	対象道路の路線名を記入して下さい。 例) 土生池線 井関御坊線 一般国道 42 号 阪和自動車道 近畿自動車道紀勢線 (湯浅御坊道路)	文字	全角かな漢字・半角英数字	30 字以内	一般国道 8 号														
(2) 車線数	対象道路の車線数を記入して下さい。 ※ 上り・下り両方向の車線数合計を記入して下さい。ただし、一方通行道路の場合は片方向車線数となります。	整数	半角数字	2 字以内	4														
(3) 道路種別	対象道路の種類を、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	1 字以内	3														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コード番号</th> <th>分 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>国土開発幹線自動車道等 (高速自動車国道)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>都市高速道路</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>一般国道</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>都道府県道 (主要地方道を含む)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>4 車線以上の市区町村道</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>その他の道路</td> </tr> </tbody> </table>	コード番号	分 類	1	国土開発幹線自動車道等 (高速自動車国道)	2	都市高速道路	3	一般国道	4	都道府県道 (主要地方道を含む)	5	4 車線以上の市区町村道	6	その他の道路				
コード番号	分 類																		
1	国土開発幹線自動車道等 (高速自動車国道)																		
2	都市高速道路																		
3	一般国道																		
4	都道府県道 (主要地方道を含む)																		
5	4 車線以上の市区町村道																		
6	その他の道路																		
(4) 道路構造	対象道路における当該評価区間の道路構造を、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	1 字以内	1														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コード番号</th> <th>分 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>平面</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>高架・橋梁</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>盛土</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>堀割</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table>	コード番号	分 類	1	平面	2	高架・橋梁	3	盛土	4	堀割	5	その他						
コード番号	分 類																		
1	平面																		
2	高架・橋梁																		
3	盛土																		
4	堀割																		
5	その他																		
(5) 遮音壁等の有無	評価区間における遮音壁・環境施設帯の設置有無を、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	1 字以内	0														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コード番号</th> <th>分 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>なし (遮音壁・環境施設帯共に設置していない)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>遮音壁のみ設置</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>環境施設帯のみ設置</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>遮音壁・環境施設帯を共に設置</td> </tr> </tbody> </table>	コード番号	分 類	0	なし (遮音壁・環境施設帯共に設置していない)	1	遮音壁のみ設置	2	環境施設帯のみ設置	3	遮音壁・環境施設帯を共に設置								
コード番号	分 類																		
0	なし (遮音壁・環境施設帯共に設置していない)																		
1	遮音壁のみ設置																		
2	環境施設帯のみ設置																		
3	遮音壁・環境施設帯を共に設置																		
(6) 低騒音舗装の有無	評価区間における低騒音舗装の実施について、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	1 字以内	1														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コード番号</th> <th>分 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>低騒音舗装なし</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>低騒音舗装あり</td> </tr> </tbody> </table>	コード番号	分 類	0	低騒音舗装なし	1	低騒音舗装あり												
コード番号	分 類																		
0	低騒音舗装なし																		
1	低騒音舗装あり																		
(7) センサス番号	国土交通省 平成22年度または、平成27年度道路交通センサス (全国道路交通情勢調査) に基づき、「市区町村コード」、「区間番号」を記入して下さい。なお、 <u>道路交通センサス調査にない道路又は調査区間で評価を行った場合は 0 とします。</u>	整数	半角数字	4 字以内	2015 又は 0														
		整数	半角数字	3 字以内	203 又は 0														
		整数	半角数字	6 字以内	1016 又は 0														
8	評価区間の始点の住所 評価区間の終点の住所 評価区間の始点及び終点の住所を記入して下さい。 (市、区、町、村の順に記入して下さい。) ※市区町村別集計のため、 <u>評価区間の始点・終点が、異なる行政境 (市、特別区、町・村) 間にまたがらないようにして下さい。</u>	文字	全角かな漢字・半角英数字	50 字以内 (全角・半角併せて)	小松市園町														
		文字	全角かな漢字・半角英数字	50 字以内 (全角・半角併せて)	小松市北浅井町														

9	評価区間の延長	評価区間の延長 (km) を小数点第 1 位まで記入して下さい。 ※0.04km 以下の場合は 0.1km としてください。	実数	半角数字	4 字以内 (小数点以下第 1 位まで)	1.7												
10	騒音測定年度	項 6 (騒音発生強度の把握の方法) で 1 または 2 を記入した場合、項 11 (騒音測定地点番号) に入力する騒音測定地点の、騒音観測年度を西暦で記入して下さい。 なお、項 6 (騒音発生強度の把握の方法) で 3 または 4 を記入した場合は、空欄として下さい。	整数	半角数字	4 字以内	2017												
11	騒音測定地点番号	沿道騒音レベルの実測による方法の場合、沿道騒音レベルに該当する様式 2-1 (騒音測定結果)「1. 騒音測定地点番号」を記入して下さい。 なお、項 6 (騒音発生強度の把握の方法) で 1 または 2 以外を記入した場合は、空欄として下さい。 ※ 騒音観測区間で、1 評価区間において、異なる 2 以上の騒音測定地点における騒音測定結果を用いている場合は、これら 2 測定地点をコンマ “,” で併せて記入して下さい。	文字	半角英数字	20 字以内	10 又は 10, 11												
12	残留騒音レベル	評価区間における残留騒音レベルについて、 ① 「設定」欄に、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。 なお、項 6 (騒音発生強度の把握の方法) で 4 を記入した場合は、「ー」を記入して下さい。 <table><tr><th>コード番号</th><th>分 類</th></tr><tr><td>1</td><td>近傍の一般地域における L_{Aeq} を残留騒音レベルとする場合</td></tr><tr><td>2</td><td>背後地騒音測定結果における L_{A95} を残留騒音レベルとする場合</td></tr><tr><td>3</td><td>一般地域の環境基準値とする場合 (面的評価支援システムでの初期設定値)</td></tr><tr><td>4</td><td>その他の方法で残留騒音レベルを決定する場合</td></tr><tr><td>ー</td><td>騒音発生強度の把握の方法が 4 とする場合</td></tr></table> ②「昼間」及び「夜間」欄に、設定値 (dB) を記入して下さい。 ※評価手法の定義上、残留騒音は評価点における騒音レベルに含まれますので、特段の事情がない限り、示すようにして下さい。なお、事情によりデータ欠損の場合は、「空欄」として下さい。 ※面的評価支援システムを使用した場合、残留騒音が未設定であっても、無条件で一般地域の環境基準値を残留騒音として評価を行ないます。	コード番号	分 類	1	近傍の一般地域における L_{Aeq} を残留騒音レベルとする場合	2	背後地騒音測定結果における L_{A95} を残留騒音レベルとする場合	3	一般地域の環境基準値とする場合 (面的評価支援システムでの初期設定値)	4	その他の方法で残留騒音レベルを決定する場合	ー	騒音発生強度の把握の方法が 4 とする場合	整数	半角数字	1 字以内	2
コード番号	分 類																	
1	近傍の一般地域における L_{Aeq} を残留騒音レベルとする場合																	
2	背後地騒音測定結果における L_{A95} を残留騒音レベルとする場合																	
3	一般地域の環境基準値とする場合 (面的評価支援システムでの初期設定値)																	
4	その他の方法で残留騒音レベルを決定する場合																	
ー	騒音発生強度の把握の方法が 4 とする場合																	
			整数	半角数字	2 字以内	49 47												

13	評価結果 （評価区間 全体）	先に下記「14」に従って「近接空間」「非近接空間」別に a. ～e. の内訳を作成して下さい。 その後、a. ～e. 別の合計値（①+②）を、「13」に記入して 下さい。 ※幹線交通を担う道路（高速自動車国道、都市高速道路、 一般国道、都道府県道、4 車線以上の市区町村道）に近接 する空間の範囲は、次の車線数の区分に応じ道路端からの距離に より範囲が特定されます。 ・2 車線以下の車線を有する幹線交通を担う道路 15 メートル ・2 車線を超える車線を有する幹線交通を担う道路 20 メートル ※「非近接空間」とは、幹線交通を担う道路に近接する空間の 基準値が適用されない地域をいいます。	整数	半角数字	6 字以内	93 52 33 0 8												
14	評価結果 （幹線交通を担う道路に近接する空間・非近接空間別の値）	【近接空間 ①】欄 下表「a. ～e. 別の記入内容」に従って、「近接空間」における 住居等の戸数を記入して下さい。 表 a. ～e. 別の記入内容 <table><tr><th>項目</th><th>分 類</th></tr><tr><td>a.</td><td>b. ～d. の合計値です。 （評価区間の住居等戸数と同値になります）</td></tr><tr><td>b.</td><td>昼間・夜間とも基準値以下の住居等戸数</td></tr><tr><td>c.</td><td>昼間のみ基準値以下の住居等戸数</td></tr><tr><td>d.</td><td>夜間のみ基準値以下の住居等戸数</td></tr><tr><td>e.</td><td>昼間・夜間とも基準値超過の住居等戸数</td></tr></table> ※ 定義する時間帯は、昼間は午前 6 時～午後 10 時、夜間は 午後 10 時～午前 6 時です。	項目	分 類	a.	b. ～d. の合計値です。 （評価区間の住居等戸数と同値になります）	b.	昼間・夜間とも基準値以下の住居等戸数	c.	昼間のみ基準値以下の住居等戸数	d.	夜間のみ基準値以下の住居等戸数	e.	昼間・夜間とも基準値超過の住居等戸数	整数	半角数字	6 字以内	18 5 5 0 8
項目	分 類																	
a.	b. ～d. の合計値です。 （評価区間の住居等戸数と同値になります）																	
b.	昼間・夜間とも基準値以下の住居等戸数																	
c.	昼間のみ基準値以下の住居等戸数																	
d.	夜間のみ基準値以下の住居等戸数																	
e.	昼間・夜間とも基準値超過の住居等戸数																	
		【非近接空間（全体）②】欄 先に下記「15」に従って「非近接空間」における A 類型と B・ C 類型の地域の類型毎に、住居等の戸数を記入して下さい。 その後、非近接空間の地域類型毎の a. ～e. 別の合計値（③+ ④+⑤）を、「非近接空間（全体）②」欄に記入して下さい。	整数	半角数字	6 字以内	75 47 28 0 0												
15	評価結果 （非近接空間 における値の 類型別内訳）	【非近接空間のうち A 類型 ③】欄 非近接空間のうち A 類型について、「14」に示す表「a. ～e. 別 の記入内容」に従って、住居等の戸数を記入して下さい。 【非近接空間のうち B・C 類型 ④】欄 非近接空間のうち B 類型・C 類型について、「14」に示す表 「a. ～e. 別の記入内容」に従って、住居等の戸数を記入して 下さい。 【非近接空間のうち類型なし ⑤】欄 非近接空間のうち類型なしについて、「14」に示す表 「a. ～e. 別の記入内容」に従って、住居等の戸数を記入して 下さい。	整数	半角数字	6 字以内	0 0 0 0 0												
			整数	半角数字	6 字以内	63 33 11 0 0												
			整数	半角数字	6 字以内	12 14 17 0 0												

【注意事項】

評価の実施年度（No. 5）について

様式1-1を記入する場合において、過年度（令和3年度より前）に評価を実施した評価区間において、当該評価区間の沿道状況及び騒音発生強度の照査を行った結果、令和3年度においても変化が生じていないと認められた区間については、併せて報告して下さい。

【A. 面的評価支援システムを使用した場合】

①過年度データの活用

- ・過年度に報告したデータを活用し報告する手順については、「面的評価支援システム操作マニュアル（別冊）過年度データの活用方法編」を参照ください。

[手順として]

過年度データの活用については、1. 基準年度の登録、2. 評価区間の情報入力、3. 建物属性の把握、4. 騒音設定以降の作業となります。

1. 基準年度の登録：「面的評価支援システム操作マニュアル（別冊）過年度データの活用方法編」p7を参照

初期設定－5. 基準年度より評価年度・測定年度・道路交通センサス年度を登録ください。

2. 評価区間の情報入力：「面的評価支援システム操作マニュアル（別冊）過年度データの活用方法編」p8を参照

評価区間に「評価の実施年度」を設定する項目があります。

その年度が報告様式1－1の評価年度として設定されます。

GISデータファイルの評価区間の評価年度も同様です。

3. 建物属性の把握：「面的評価支援システム操作マニュアル（別冊）過年度データの活用方法編」p9を参照

過年度に評価した区間を指定して、沿道設定－10. 建物－(4)建物物属性把握処理を実行ください。

4. 騒音設定以降の作業については、当年度に報告する区間と同様の作業です。

- ②過年度に評価を実施した評価区間において、当該評価区間の沿道状況及び騒音発生強度の照査を行った結果、変化が生じていないと認められる場合には、「評価の実施年度」に最初に報告した年度を記載して報告ください。

例) 2021年度報告：2020年度に報告した区間について”2020”と記載

また、照査を行った結果、一定の変化が生じていると認められる場合には、評価を再度実施して、新規に報告する当該年度の区間と同様に報告ください。

例) 2021年度報告：2020年度に報告した区間について”2021”と記載

- ③なお、過年度に評価した区間と当該年度の区間が交差する場合には、過年度に評価した区間の交差する街区についても合成処理を行う必要があり、評価結果が異なるため、「評価の実施年度」を変更し当該年度として報告します。

【B. 面的評価支援システムを使用しなかった場合】

- ①「面的評価支援システムを使用した場合」と同様に、過年度に評価を実施した評価区間において、当該評価区間の沿道状況及び騒音発生強度の照査を行った結果、変化が生じていないと認められる場合には、「評価の実施年度」に最初に報告した年度を記載して報告ください。

例) 2021年度報告：2020年度に報告した区間について”2020”と記載

また、照査を行った結果、一定の変化が生じていると認められる場合には、評価を再度実施して、新規に報告する当該年度の区間と同様に報告ください。

例) 2021年度報告：2019年度に報告した区間について”2021”と記載

なお、当該年度の評価区間とともに、過年度に評価を実施した区間について、昨年度（令和元年度）の報告様式（エクセル）から該当部分（重複がないように注意）を貼り付けて報告してください。

残留騒音レベル (No. 12) について

様式1-1を記入する場合において、評価の実施にあたっては、必ず評価区間における残留騒音レベルを設定し、その設定した方法を記入して下さい。

残留騒音レベルは、近傍の一般地域における L_{Aeq} 、または背後地騒音測定結果における L_{A95} 、または一般地域の環境基準値（面的評価支援システムでの初期設定値）の方法、またはその他の方法で設定して下さい。なお、事情によりデータが欠損している場合は、空欄として下さい。

面的評価支援システムを使用した場合、残留騒音が未設定の時は、無条件で一般地域の環境基準値を残留騒音として評価を行ないます。

様式1-2 複数評価区間で重複計上の戸数再掲（評価重複再掲）

- ・交差点部などいずれか2つ以上の評価区間の間で重複する評価範囲が存在する場合は、個別の住居等において評価結果は一意となりますが、この場合において各々の評価区間で評価結果を重複計上している場合、各々の評価区間ごとに、重複計上している評価の詳細について**必ず**記入して下さい。
 （掲載対象が無い場合は、“空白”の様式となります）
- ・該当する評価区間が存在する場合は、該当する全ての評価区間について記入して下さい。また、1評価区間につき1行ずつデータを記入して下さい。
 （記載対象が存在する場合、結果的には、最低2行以上記入する、偶数行で構成される様式となります）

No .	項 目	記入要領	記入フォーマット			
			型	使用文字	文字数	記入例
1	一連番号	重複計上している箇所ごとに一連番号を記入して下さい。	整数	半角数字	6 字以内	欄外下参照
2	都道府県コード	様式 1-1「2. 都道府県コード」と同様に、「統計に用いる標準地域コード」（総務省-平成 31 年 3 月 25 日現在）に従い、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	2 字以内	欄外下参照
3	市区町村コード	様式 1-1「3. 市区町村コード」と同様に、「統計に用いる標準地域コード」（総務省-平成 31 年 3 月 25 日現在）に従い、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	3 字以内	欄外下参照
4	評価区間番号	評価結果を重複計上している評価区間の全てについて、該当する評価区間毎に、様式 1-1「4. 評価区間番号」と同じ番号を記入して下さい。	文字	半角英数字	15 字以内	欄外下参照
5	評価対象道路①路線名	「4. 評価区間番号」で記入した評価区間毎に、様式 1-1「7. 評価対象道路① (1) 路線名」で記入した路線名を、記入して下さい。	文字	全角かな漢字・半角英数字	30 字以内	欄外下参照
	評価対象道路②路線名	「4. 評価区間番号」で記入した評価区間毎に、様式 1-1「7. 評価対象道路② (1) 路線名」で記入した路線名があれば、その路線名を記入して下さい。	文字	全角かな漢字・半角英数字	30 字以内	欄外下参照
6	交差道路等 1	「4. 評価区間番号」で記入した評価区間における評価範囲が、他の評価区間における評価範囲と重複している場合で、重複箇所でも評価対象となる住居等の評価結果を、それぞれの評価区間で重複計上している場合に記入して下さい。 ※ 重複計上している箇所ごとに「1. 一連番号」は連番とし、それぞれの評価区間が必ず「交差道路 1」に 1 回ずつ記入されるようにして下さい。				欄外下参照
		評価区間番号 「4. 評価区間番号」で記入した評価区間に対して、該当する評価区間について様式 1-1「4. 評価区間番号」で記入した番号を記入して下さい。	文字	半角英数字	15 字以内	欄外下参照
		路線名 上記で記入した評価区間について、様式 1-1「7. 評価対象道路① (1) 路線名」で記入した路線名を記入して下さい。	文字	全角かな漢字・半角英数字	30 字以内	欄外下参照
7	交差道路等 2	「4. 評価区間番号」で記入した評価区間における評価範囲が、他の評価区間における評価範囲と重複している場合で、重複箇所でも評価対象となる住居等の評価結果を、3 以上の評価区間で重複計上している場合があれば記入して下さい。 ※ 重複計上している評価区間が 3 つの場合は、それぞれの評価区間が必ず「交差道路 2」に 1 回ずつ記入されるようにして下さい。この場合において、「評価区間番号」「路線名」は、前欄と同様に記入して下さい。 ※ 重複計上している評価区間が 4 つ以上の場合、重複計上している箇所ごとに、「5. 評価対象道路①②」「6. 交差道路等 1」を除く全ての評価区間の組が現れる順列の回数分、記入されるようにして下さい。この場合において、「評価区間番号」は空欄とし、「路線名」には“その他 (n)”と記入して下さい。ただし (n) の n は、このような評価区間が 4 つ以上ある場合の箇所ごとに付けた一連番号とします。				欄外下参照

報告様式記入要領

8	評価区間全体 ①+②	重複計上している箇所ごとに、記入して下さい。 記入方法は、様式 1-1「13. 評価結果（評価区間全体）」に準じます。	整数	半角数字	各 6 字以内	欄外下参照
9	近接空間 ① 非近接空間（全体）②	重複計上している箇所ごとに、記入して下さい。 記入方法は、様式 1-1「14. 評価結果（近接空間・非近接空間別の値）」に準じます。	整数	半角数字	各 6 字以内	欄外下参照
			整数	半角数字	各 6 字以内	欄外下参照
10	非近接空間のうち A 類型 ③	重複計上している箇所ごとに、記入して下さい。 記入方法は、様式 1-1「15. 評価結果（非近接空間における値の類型別内訳）」に準じます。	整数	半角数字	各 6 字以内	欄外下参照
	非近接空間のうち B・C 類型 ④		整数	半角数字	各 6 字以内	欄外下参照
	非近接空間のうち類型なし ⑤		整数	半角数字	各 6 字以内	欄外下参照

【記入例】

1	2	3	4	5		6		7		8				
一連番号	都道府県コード	市区町村コード	評価区間番号	評価対象道路①	評価対象道路②	交差道路等 1		交差道路等 2		評価区間全体 ①+②				
				路線名	路線名	評価区間番号	路線名	評価区間番号	路線名	評価対象住居等戸数 a=b+c+d+e (戸)	昼間・夜間とも基準値以下 b (戸)	昼間のみ基準値以下 c (戸)	夜間のみ基準値以下 d (戸)	昼間・夜間とも基準値超過 e (戸)
1	17	202	103601	一般国道159号		105601	一般国道249号			4	4	0	0	0
1	17	202	105601	一般国道249号		103601	一般国道159号			4	4	0	0	0
2	17	202	105601	一般国道249号		602001	一般県道七尾港線			13	13	0	0	0
2	17	202	602001	一般県道七尾港線		105601	一般国道249号			13	13	0	0	0
3	17	202	105701	一般国道249号		613002	一般県道倉和倉停車場線			9	9	0	0	0
3	17	202	613002	一般県道倉和倉停車場線		105701	一般国道249号			9	9	0	0	0
4	17	203	101503	一般国道8号		401401	主要地方道小松鶴来線			1	1	0	0	0
4	17	203	401401	主要地方道小松鶴来線		101503	一般国道8号			1	1	0	0	0

9										10															
近接空間 ①					非近接空間(全体) ②=③+④+⑤					非近接空間のうちA類型 ③					非近接空間のうちB・C類型 ④					非近接空間のうち類型なし ⑤					
評価対象住居等戸数 a=b+c+d+e (戸)	昼間・夜間とも基準値以下 b (戸)	昼間のみ基準値以下 c (戸)	夜間のみ基準値以下 d (戸)	昼間・夜間とも基準値超過 e (戸)	評価対象住居等戸数 a=b+c+d+e (戸)	昼間・夜間とも基準値以下 b (戸)	昼間のみ基準値以下 c (戸)	夜間のみ基準値以下 d (戸)	昼間・夜間とも基準値超過 e (戸)	評価対象住居等戸数 a=b+c+d+e (戸)	昼間・夜間とも基準値以下 b (戸)	昼間のみ基準値以下 c (戸)	夜間のみ基準値以下 d (戸)	昼間・夜間とも基準値超過 e (戸)	評価対象住居等戸数 a=b+c+d+e (戸)	昼間・夜間とも基準値以下 b (戸)	昼間のみ基準値以下 c (戸)	夜間のみ基準値以下 d (戸)	昼間・夜間とも基準値超過 e (戸)	評価対象住居等戸数 a=b+c+d+e (戸)	昼間・夜間とも基準値以下 b (戸)	昼間のみ基準値以下 c (戸)	夜間のみ基準値以下 d (戸)	昼間・夜間とも基準値超過 e (戸)	
2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	7	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	3	3	0	0	0
7	7	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	3	3	0	0	0
8	8	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	8	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【参考】

様式1-2を記入する場合において、交差道路等が 2 つまでの場合、地域としての評価【様式3-2（総括表（市区町村別））】は、次のように算出できます。

地域としての評価（住居等戸数）：＝アの計－イの計＋ウの計／2－ウの計＋ウの計／3

ア：様式 1-1（交差点付近等を重複したもの）

イ：この表（様式 1-2 ～ 評価重複再掲）のうち交差道路等 1 のみ

ウ：この表（様式 1-2 ～ 評価重複再掲）のうち交差道路等 1，2 があるもの

様式2-1 騒音測定結果（沿道騒音レベル）

- ・様式 1-1「項 6（騒音発生強度の把握の方法）」で 1 または 2 を記入した 評価区間に該当する騒音測定地点データを記入してください。（過年度の騒音測定地点も含みます）
- ・記入するデータは、環境基準達成状況の評価を行うために測定した騒音レベルに関するデータとします。

No.	項 目	記入要領	記入フォーマット																			
			型	使用文字	文字数	記入例																
1	騒音測定地点番号	騒音測定を行った地点毎に、番号を記入して下さい。 ※この番号は、様式1-1(11)、様式2-2(1)、様式2-3(1)において、同じ測定地点には、全て同じ騒音測定地点番号を用います。過年度データを記載する場合は、過年度に記載した騒音測定地点番号を記載して下さい。	文字	半角英数字	9 字以内	10																
2	評価区間番号	様式 1-1「4. 評価区間番号」に対応した番号を記入して下さい。	文字	半角英数字	15 字以内	101601																
3	ローテーション	当該測定地点について、何年毎に測定しているか、記入して下さい。 <table border="1"><thead><tr><th>記入数値</th><th>分 類</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>1 年 毎（毎年）</td></tr><tr><td>2</td><td>2 年 毎</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>N</td><td>N 年 毎（N は 1～10 の数値）</td></tr><tr><td>X(エックス)</td><td>実施計画に定めず、例外的に測定を行った場合</td></tr></tbody></table>	記入数値	分 類	1	1 年 毎（毎年）	2	2 年 毎	・	・	・	・	N	N 年 毎（N は 1～10 の数値）	X(エックス)	実施計画に定めず、例外的に測定を行った場合	整数	半角英数字	2 字以内	1		
記入数値	分 類																					
1	1 年 毎（毎年）																					
2	2 年 毎																					
・	・																					
・	・																					
N	N 年 毎（N は 1～10 の数値）																					
X(エックス)	実施計画に定めず、例外的に測定を行った場合																					
4	都道府県コード	様式 1-1「2. 都道府県コード」と同様に、「統計に用いる標準地域コード」（総務省-平成 31 年 3 月 25 日現在）に従い、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	2 字以内	17																
5	市区町村コード	様式 1-1「3. 市区町村コード」と同様に、「統計に用いる標準地域コード」（総務省-平成 31 年 3 月 25 日現在）に従い、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	3 字以内	203																
6	測定地点の住所	当該測定地点の所在地住所を、市、区、町、村の順に記入して下さい。	文字	全角かな漢字・半角英数字	50 字以内 （全角・半角併せて）	小 松 市 光 町 54-61																
7	用途地域	当該測定地点における都市計画用途地域の区分について、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。 <table border="1"><thead><tr><th>コード番号</th><th>分 類</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>第一種・第二種低層住居専用地域 田園住居地域</td></tr><tr><td>2</td><td>第一種・第二種中高層住居専用地域</td></tr><tr><td>3</td><td>第一種・第二種住居地域、準住居地域</td></tr><tr><td>4</td><td>近隣商業地域、商業地域</td></tr><tr><td>5</td><td>準工業地域、工業地域</td></tr><tr><td>6</td><td>工業専用地域</td></tr><tr><td>7</td><td>地域の区分が定められていない地域</td></tr></tbody></table>	コード番号	分 類	1	第一種・第二種低層住居専用地域 田園住居地域	2	第一種・第二種中高層住居専用地域	3	第一種・第二種住居地域、準住居地域	4	近隣商業地域、商業地域	5	準工業地域、工業地域	6	工業専用地域	7	地域の区分が定められていない地域	整数	半角数字	1 字以内	5
コード番号	分 類																					
1	第一種・第二種低層住居専用地域 田園住居地域																					
2	第一種・第二種中高層住居専用地域																					
3	第一種・第二種住居地域、準住居地域																					
4	近隣商業地域、商業地域																					
5	準工業地域、工業地域																					
6	工業専用地域																					
7	地域の区分が定められていない地域																					
8	環境基準類型	「騒音に係る環境基準について（平成 10 年 9 月 30 日環境庁告示第 64 号）」に基づく当該測定地点の地域の類型（A A、A、B、C）を記入して下さい。 ※該当する環境基準類型が無い場合は、“X”（エックス「大文字」）を記入して下さい。	文字	半角英字	2 字以内	C																

9	評価対象道路① 評価対象道路②	様式 1-1 の「7. 評価対象道路」に準じて、記入して下さい。 (以下、様式 1 に示した記入要領に準じたものを再掲します) ※ 評価対象道路が 1 道路の場合、①に記入して下さい。 ※ 構造上分離された複数の道路に面する場合、それぞれの道路の諸元を、①及び②に記入して下さい。 ※ ①及び②の双方に記入する場合、騒音測定地点に近い方の道路を①に記入して下さい。わからない場合は、「(3)道路種別」に示す番号が小さい方を①に記入して下さい																		
	(1) 路線名	対象道路の路線名を記入して下さい。 例) 土生池線 井関御坊線 一般国道 42 号 阪和自動車道 近畿自動車道紀勢線 (湯浅御坊道路)	文字	全角かな 漢字・半角 英数字	30 字以内	一般国道 8 号														
	(2) 車線数	対象道路の車線数を記入して下さい。 ※ 上り・下り両方向の車線数合計を記入して下さい。ただし、一方通行道路の場合は片方向車線数となります。	整数	半角数字	2 字以内	4														
	(3) 道路種別	対象道路の種類を、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	1 字以内	3														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>コード 番号</th> <th>分 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>国土開発幹線自動車道等(高速自動車国道)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>都市高速道路</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>一般国道</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>都道府県道 (主要地方道を含む)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>4 車線以上の市区町村道</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>その他の道路</td> </tr> </tbody> </table>	コード 番号	分 類	1	国土開発幹線自動車道等(高速自動車国道)	2	都市高速道路	3	一般国道	4	都道府県道 (主要地方道を含む)	5	4 車線以上の市区町村道	6	その他の道路				
コード 番号	分 類																			
1	国土開発幹線自動車道等(高速自動車国道)																			
2	都市高速道路																			
3	一般国道																			
4	都道府県道 (主要地方道を含む)																			
5	4 車線以上の市区町村道																			
6	その他の道路																			
	(4) 道路構造	対象道路における当該評価区間の道路構造を、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	1 字以内	1														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>コード 番号</th> <th>分 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>平面</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>高架・橋梁</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>盛土</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>堀割</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table>	コード 番号	分 類	1	平面	2	高架・橋梁	3	盛土	4	堀割	5	その他						
コード 番号	分 類																			
1	平面																			
2	高架・橋梁																			
3	盛土																			
4	堀割																			
5	その他																			
	(5) 遮音壁等の有無	評価区間における遮音壁・環境施設帯の設置有無を、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	1 字以内	0														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>コード 番号</th> <th>分 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>なし(遮音壁・環境施設帯共に設置していない)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>遮音壁のみ設置</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>環境施設帯のみ設置</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>遮音壁・環境施設帯を共に設置</td> </tr> </tbody> </table>	コード 番号	分 類	0	なし(遮音壁・環境施設帯共に設置していない)	1	遮音壁のみ設置	2	環境施設帯のみ設置	3	遮音壁・環境施設帯を共に設置								
コード 番号	分 類																			
0	なし(遮音壁・環境施設帯共に設置していない)																			
1	遮音壁のみ設置																			
2	環境施設帯のみ設置																			
3	遮音壁・環境施設帯を共に設置																			
	(6) 低騒音舗装の有無	評価区間における低騒音舗装の実施について、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	1 字以内	1														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>コード 番号</th> <th>分 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>低騒音舗装なし</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>低騒音舗装あり</td> </tr> </tbody> </table>	コード 番号	分 類	0	低騒音舗装なし	1	低騒音舗装あり												
コード 番号	分 類																			
0	低騒音舗装なし																			
1	低騒音舗装あり																			

	(7) センサス番号	国土交通省 平成22年度または、平成27年度道路交通センサス（全国道路交通情勢調査）に基づき、「市区町村コード」、「区間番号」を記入して下さい。なお、 道路交通センサス調査にない道路又は調査区間で評価を行った場合は0 とします。	整数 整数 整数	半角数字 半角数字 半角数字	4字以内 3字以内 6字以内	2015 又は 0 203 又は 0 1016 又は 0												
10	測定年度 測定開始年月日 測定終了年月日	騒音測定の年度（yyyy（西暦年））、 開始年月日（yyyy（西暦年）/mm（月）：dd（日））、 終了年月日（yyyy（西暦年）/mm（月）：dd（日））を記入して下さい。	整数 文字 文字	半角数字 半角英数字 半角英数字	4字以内 10字以内 10字以内	2017 2017/10/17 2017/10/18												
11	車道端からの距離	・対象道路の車道端からマイクロホンまでの水平距離（m、小数点1桁表示）を記入して下さい。 ※対象道路が複数ある場合は、測定対象道路①の車道端からマイクロホンまでの水平距離とします。 ※現地で水平距離を測ることが困難な場合は、道路横断図等を利用して距離を測るものとし、必ずしも実測を行う必要はありません。 ※車道端とは、車道と歩道の区別があるところでは車道側の歩道端とします。	実数	半角数字	5字以内 （小数点以下第1位まで）	3.0												
12	道路敷地境界からの距離	・対象道路の道路敷地境界からマイクロホンまでの水平距離（m、小数点1桁表示）を記入して下さい。 ※マイクロホンが道路敷地内にある場合は、マイナス（－）となります。 ※対象道路が複数ある場合は、測定対象道路①の道路端からマイクロホンまでの水平距離とします。	実数	半角数字	5字以内 （小数点以下第1位まで）	0.0												
13	地上からの高さ	マイクロホンの地上面からの高さ（単位：m、小数点以下第1位表示）を記入して下さい。	実数	半角数字	4字以内 （小数点以下第1位まで）	1.2												
14	等価騒音レベル	昼16時間（午前6時～午後10時）の $L_{Aeq, 16h}$ 夜8時間（午後10時～午前6時）の $L_{Aeq, 8h}$ の測定結果を、昼間・夜間別に記入して下さい。	整数	半角数字	各2字以内	74 72												
15	騒音レベルの中央値	平成10年度以前に測定した騒音レベルと今回測定したデータを比較するために、騒音レベルの中央値（ L_{50} ）を測定した場合は、測定結果を、昼間・夜間別に記入して下さい。	整数	半角数字	各2字以内	71 67												
16	反射音補正	反射音による補正について、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。 <table border="1"><thead><tr><th>コード番号</th><th>分類</th></tr></thead><tbody><tr><td>0</td><td>反射音による補正なし（行っていない）</td></tr><tr><td>1</td><td>反射音による補正あり（行った）</td></tr></tbody></table>	コード番号	分類	0	反射音による補正なし（行っていない）	1	反射音による補正あり（行った）	整数	半角数字	1字以内	0						
コード番号	分類																	
0	反射音による補正なし（行っていない）																	
1	反射音による補正あり（行った）																	
17	除外音の処理	除外音の処理について、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。 <table border="1"><thead><tr><th>コード番号</th><th>分類</th></tr></thead><tbody><tr><td>0</td><td>処理を行わない</td></tr><tr><td>1</td><td>騒音計のポーズボタン等により現場での除外処理</td></tr><tr><td>2</td><td>騒音レベル瞬時値の波形等を確認の上、パソコン等により事後処理</td></tr><tr><td>3</td><td>携帯型騒音モニタ等を用いて録音し、事後処理</td></tr><tr><td>4</td><td>騒音時間区分毎のL_{A5}、L_{max}等から事後処理</td></tr></tbody></table> ※ 上記4により処理を行う場合、間欠的な交通騒音が発生しているような場所では、測定時間区分によっては除外音が混入していても $L_{Aeq} > L_{A5}$ となる場合があることに留意して下さい。	コード番号	分類	0	処理を行わない	1	騒音計のポーズボタン等により現場での除外処理	2	騒音レベル瞬時値の波形等を確認の上、パソコン等により事後処理	3	携帯型騒音モニタ等を用いて録音し、事後処理	4	騒音時間区分毎の L_{A5} 、 L_{max} 等から事後処理	整数	半角数字	1字以内	1
コード番号	分類																	
0	処理を行わない																	
1	騒音計のポーズボタン等により現場での除外処理																	
2	騒音レベル瞬時値の波形等を確認の上、パソコン等により事後処理																	
3	携帯型騒音モニタ等を用いて録音し、事後処理																	
4	騒音時間区分毎の L_{A5} 、 L_{max} 等から事後処理																	

18	測定機器	測定機器及びデータ処理方法の組み合わせについて、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。		整数	半角数字	1 字以内	1																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>コード 番号</th> <th>分 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>騒音計単体＋表示部読み取り</td></tr> <tr><td>2</td><td>騒音計単体＋専用プリンタ出力</td></tr> <tr><td>3</td><td>騒音計単体＋データ転送（パソコン処理）</td></tr> <tr><td>4</td><td>騒音計＋レベル処理機＋専用プリンタ出力</td></tr> <tr><td>5</td><td>騒音計＋レベル処理機＋データ転送（パソコン処理）</td></tr> <tr><td>6</td><td>騒音計＋レベルレコーダー＋チャート読み取り</td></tr> <tr><td>7</td><td>騒音計＋レベルレコーダー＋データ転送（パソコン処理）</td></tr> <tr><td>8</td><td>その他</td></tr> </tbody> </table>	コード 番号	分 類	1	騒音計単体＋表示部読み取り	2	騒音計単体＋専用プリンタ出力	3	騒音計単体＋データ転送（パソコン処理）	4	騒音計＋レベル処理機＋専用プリンタ出力	5	騒音計＋レベル処理機＋データ転送（パソコン処理）	6	騒音計＋レベルレコーダー＋チャート読み取り	7	騒音計＋レベルレコーダー＋データ転送（パソコン処理）	8	その他	※データ転送（パソコン処理）にはメモリーカード等も含まれます。																		
コード 番号	分 類																																						
1	騒音計単体＋表示部読み取り																																						
2	騒音計単体＋専用プリンタ出力																																						
3	騒音計単体＋データ転送（パソコン処理）																																						
4	騒音計＋レベル処理機＋専用プリンタ出力																																						
5	騒音計＋レベル処理機＋データ転送（パソコン処理）																																						
6	騒音計＋レベルレコーダー＋チャート読み取り																																						
7	騒音計＋レベルレコーダー＋データ転送（パソコン処理）																																						
8	その他																																						
19	測定方法 (左欄)(右欄)	測定方法について、下記の分類に基づいて、 ①左欄に該当するコード番号を記入して下さい。 ②右欄には、左欄の内容により、それぞれに対応する内容を記入して下さい。		整数	半角数字	1 字以内	1																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">左 欄</th> <th colspan="2">右 欄</th> </tr> <tr> <th>コード 番号</th> <th>分 類</th> <th>コード 番号</th> <th>分 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>連続測定の場合</td> <td>1</td> <td>騒音レベル瞬時値 (0.1、0.2sec等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>騒音レベル1分間値 (L_{Aeq}、L_{AN}等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>騒音レベル10分間値 (L_{Aeq}、L_{AN}等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1 観測時間の特定の時間のみを測定した場合</td> <td colspan="2">実測時間（分）を記入</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>単発騒音暴露レベルから等価騒音レベルを算出した場合</td> <td colspan="2">1車種あたりの観測台数を記入</td> </tr> </tbody> </table>		左 欄		右 欄		コード 番号	分 類	コード 番号	分 類	1	連続測定の場合	1	騒音レベル瞬時値 (0.1、0.2sec等)			2	騒音レベル1分間値 (L_{Aeq} 、 L_{AN} 等)			3	騒音レベル10分間値 (L_{Aeq} 、 L_{AN} 等)			4	その他	2	1 観測時間の特定の時間のみを測定した場合	実測時間（分）を記入		3	単発騒音暴露レベルから等価騒音レベルを算出した場合	1車種あたりの観測台数を記入		整数	半角数字	4 字以内	1
左 欄		右 欄																																					
コード 番号	分 類	コード 番号	分 類																																				
1	連続測定の場合	1	騒音レベル瞬時値 (0.1、0.2sec等)																																				
		2	騒音レベル1分間値 (L_{Aeq} 、 L_{AN} 等)																																				
		3	騒音レベル10分間値 (L_{Aeq} 、 L_{AN} 等)																																				
		4	その他																																				
2	1 観測時間の特定の時間のみを測定した場合	実測時間（分）を記入																																					
3	単発騒音暴露レベルから等価騒音レベルを算出した場合	1車種あたりの観測台数を記入																																					
20	実施主体	実施主体について、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。		整数	半角数字	1 字以内	1																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>コード 番号</th> <th>分 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>都道府県</td></tr> <tr><td>2</td><td>市区町村</td></tr> <tr><td>3</td><td>その他</td></tr> </tbody> </table>	コード 番号	分 類	1	都道府県	2	市区町村	3	その他	※ 3 を選択する場合、「21 備考欄」に実施主体名称を記入して下さい。																												
コード 番号	分 類																																						
1	都道府県																																						
2	市区町村																																						
3	その他																																						
21	備考欄	その他、特に記載すべきことがあれば記入して下さい。		文字	全角かな 漢字・半角 英数字	40 字以内 (全角・半角併せて)																																	

様式2-2 騒音測定結果（交通量関係）

- ・令和3年度に騒音測定を行った地点において、計測した交通量等を記入してください。
- ・1観測時間において、10分以上の交通量測定を行った場合は、10分間平均値に換算し記入して下さい。

項 目	記入要領	記入フォーマット																	
		型	使用文字	文字数	記入例														
1 騒音測定地点番号	様式 2-1 「1. 騒音測定地点番号」 に対応した番号を記入して下さい。	文字	半角英数字	9 字以内	10														
2 評価区間番号	様式 1-1 「4. 評価区間番号」 と同じ番号を記入して下さい。	文字	半角英数字	15 字以内	101601														
3 都道府県コード	様式 1-1 「2. 都道府県コード」 と同様に、「統計に用いる標準地域コード」 （総務省-平成 31 年 3 月 25 日現在） に従い、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	2 字以内	17														
4 市区町村コード	様式 1-1 「3. 市区町村コード」 と同様に、「統計に用いる標準地域コード」 （総務省-平成 31 年 3 月 25 日現在） に従い、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	3 字以内	203														
5 対象道路	様式 1-1 の 「7. 評価対象道路」 に準じて、記入して下さい。																		
(1) 路線名	対象道路の路線名を記入して下さい。 例) 土生池線 井関御坊線 一般国道 42 号 阪和自動車道 近畿自動車道紀勢線（湯浅御坊道路）	文字	全角かな漢字・半角英数字	30 字以内	一般国道 8 号														
(2) 車線数	対象道路の車線数を記入して下さい。 ※ 上り・下り両方向の車線数合計を記入して下さい。ただし、一方通行道路の場合は片方向車線数となります。	整数	半角数字	2 字以内	4														
(3) 道路種別	対象道路の種類を、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。 <table><tr><th>コード番号</th><th>分 類</th></tr><tr><td>1</td><td>国土開発幹線自動車道等(高速自動車国道)</td></tr><tr><td>2</td><td>都市高速道路</td></tr><tr><td>3</td><td>一般国道</td></tr><tr><td>4</td><td>都道府県道（主要地方道を含む）</td></tr><tr><td>5</td><td>4 車線以上の市区町村道</td></tr><tr><td>6</td><td>その他の道路</td></tr></table>	コード番号	分 類	1	国土開発幹線自動車道等(高速自動車国道)	2	都市高速道路	3	一般国道	4	都道府県道（主要地方道を含む）	5	4 車線以上の市区町村道	6	その他の道路	整数	半角数字	1 字以内	3
コード番号	分 類																		
1	国土開発幹線自動車道等(高速自動車国道)																		
2	都市高速道路																		
3	一般国道																		
4	都道府県道（主要地方道を含む）																		
5	4 車線以上の市区町村道																		
6	その他の道路																		
(4) 道路構造	対象道路における測定地点近傍の道路構造を、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。 <table><tr><th>コード番号</th><th>分 類</th></tr><tr><td>1</td><td>平面</td></tr><tr><td>2</td><td>高架・橋梁</td></tr><tr><td>3</td><td>盛土</td></tr><tr><td>4</td><td>堀割</td></tr><tr><td>5</td><td>その他</td></tr></table>	コード番号	分 類	1	平面	2	高架・橋梁	3	盛土	4	堀割	5	その他	整数	半角数字	1 字以内	1		
コード番号	分 類																		
1	平面																		
2	高架・橋梁																		
3	盛土																		
4	堀割																		
5	その他																		

(5) 遮音壁等の有無	測定地点近傍における遮音壁・環境施設帯の設置有無を、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。		整数	半角数字	1字以内	0		
	コード番号	分 類						
	0 1 2 3	なし(遮音壁・環境施設帯共に設置していない) 遮音壁のみ設置 環境施設帯のみ設置 遮音壁・環境施設帯を共に設置						
(6) 低騒音舗装の有無	測定地点近傍における低騒音舗装の実施について、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。		整数	半角数字	1字以内	1		
	コード番号	分 類						
	0 1	低騒音舗装なし 低騒音舗装あり						
(7) センサス番号	国土交通省 平成 22 年度または、平成 27 年度道路交通センサス(全国道路交通情勢調査)に基づき、「市区町村コード」、「区間番号」を記入して下さい。なお、 <u>道路交通センサス調査にない道路又は調査区間で評価を行った場合は 0 とします。</u>		整数	半角数字	4字以内	2015		
			整数	半角数字	3字以内	203		
			整数	半角数字	6字以内	1016		
6	交通条件観測時刻	交通量観測開始時刻(hh(時):mm(分))を記入して下さい。		文字	半角英数字(hh:mm)	5字以内	09:15	
7	10 分間交通量	車種区分*ごとに観測した交通量(台/10分)を、騒音測定側の車線・反対側の車線別に記入して下さい。 ※ 大型Ⅰ・Ⅱに分けて交通量観測を行わなかった場合は、大型Ⅰの欄にまとめて記入し、大型Ⅱの欄は「X」(エックス「大文字」)を記入して下さい。 ※ データ欠損の場合は、「-」を記入して下さい。 *「騒音に係る環境基準の評価マニュアル 道路に面する地域編(平成 27 年 10 月 環境省水・大気環境局長発各地方公共団体の担当部局長宛)」の「3.8 交通条件」に基づく車種区分	騒音測定側の車線	大型Ⅰ	整数(文字)	半角英数字	3字以内	13
				大型Ⅱ	整数(文字)	半角英数字	3字以内	22
				小型	整数(文字)	半角英数字	3字以内	162
				二輪	整数(文字)	半角英数字	3字以内	2
			騒音測定側の反対側の車線	大型Ⅰ	整数(文字)	半角英数字	3字以内	13
				大型Ⅱ	整数(文字)	半角英数字	3字以内	19
				小型	整数(文字)	半角英数字	3字以内	145
				二輪	整数(文字)	半角英数字	3字以内	2
8	平均走行速度観測時刻	平均走行速度の観測開始時刻(hh(時):mm(分))を記入して下さい。		文字	半角英数字(hh:mm)	5字以内	09:15	
9	平均走行速度	騒音測定側の車線・反対側の車線別に平均走行速度(km/h)を記入して下さい。 ※ データ欠損の場合は、「-」を記入して下さい。	騒音測定側の車線	実数	半角数字	5字以内 (小数点以下第1位まで)	52.4	
		騒音測定側の反対側の車線	実数	半角数字	5字以内 (小数点以下第1位まで)	56.8		
10	当該時間の等価騒音レベル	交通量観測時間に該当する等価騒音レベル(dB)を記入して下さい。 ※ データ欠損の場合は、「-」を記入して下さい。		整数	半角数字	2字以内	72	

様式2-3 騒音測定結果（背後地騒音）

・令和3年度に騒音測定を行った地点において、背後地の騒音レベルを測定した場合は、その結果を下記の記入方法に従って、記入して下さい。

No. .	項 目	記入要領	記入フォーマット			
			型	使用文字	文字数	記入例
1	騒音測定地点番号	様式 2-1 「1. 騒音測定地点番号」に対応した番号を記入して下さい。	文字	半角英数字	9 字以内	10
2	評価区間番号	様式 1-1 「4. 評価区間番号」と同じ番号を記入して下さい。	文字	半角英数字	15 字以内	101601
3	都道府県コード	様式 1-1 「2. 都道府県コード」と同様に、「統計に用いる標準地域コード」（総務省-平成 31 年 3 月 25 日現在）に従い、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	2 字以内	17
4	市区町村コード	様式 1-1 「3. 市区町村コード」と同様に、「統計に用いる標準地域コード」（総務省-平成 31 年 3 月 25 日現在）に従い、該当するコード番号を記入して下さい。	整数	半角数字	3 字以内	203
5	背後地測定時刻	背後地測定の開始時刻（hh（時）：mm（分））を記入して下さい。	文字	半角英数字	5 字以内	09:43
6	原測定地点の L_{Aeq}	背後地測定を行った観測時間における道路近傍騒音の測定値（dB）を記入して下さい。	整数	半角数字	2 字以内	74
7	背後地の L_{Aeq}	背後地における測定結果（dB）を記入して下さい。	整数	半角数字	2 字以内	62
8	背後地の L_{A95}	L_{A95} の測定を行った場合、その値（dB）を記入して下さい。	整数	半角数字	2 字以内	49
9	車道端からの距離	対象道路の車道端よりマイクロホンまでの水平距離（m）を記入して下さい。	実数	半角数字	5 字以内 （小数点以下第 1 位まで）	3. 0
10	地上からの高さ	マイクロホンの地上面からの高さ（m）を記入して下さい。	実数	半角数字	4 字以内 （小数点以下第 1 位まで）	1. 2
11	備考欄	1 つの道路近傍騒音に対して、複数の場所で背後地騒音レベルを測定した場合等、特に記載すべきことがあれば、記入して下さい。	文字	全角かな漢字・半角英数字	40 字以内 （全角・半角併せて）	

様式3-1 環境基準達成状況の評価結果 総括表（道路種類別）

令和3年度常時監視に基づき実施した、自動車騒音に係る環境基準達成状況の評価結果（面的評価）について、様式1-1に基づき、道路種類別に集計した結果を記入して下さい。

No	項 目	記入要領	記入フォーマット															
			型	使用文字	文字数	記入例												
1	道路種類別	様式 1-1「7(3)道路種別」で記入した、下記の道路種類別、 1. 国土開発幹線自動車道等(高速自動車国道) 2. 都市高速道路 3. 一般国道 4. 都道府県道（主要地方道を含む） 5. 4 車線以上の市区町村道 6. その他の道路 に対応します。	文字	全角かな 漢字・半 角英数字	(所定の様式 に記載済)	一般国道												
2	評価区間延長	全体及び道路種類別に分類した評価区間の延長(km)を、小数点 以下第 1 位まで記入して下さい。 ※ 道路種類別の評価区間延長の合計は、様式 1-1「7. 評価対象 道路①」で分類した道路種類別で集計して下さい。「7. 評価対 象道路②」の道路種類別では集計しないで下さい。	実数	半角数字	5 字以内 (小数点以下 第 1 位まで)	47. 4												
3	評価区間数	全体及び道路種類別に分類した評価区間数を記入して下さい。 ※ 道路種類別の評価区間延長の合計は、様式 1-1「7. 評価対象 道路①」で分類した道路種類別で集計して下さい。「7. 評価対 象道路②」の道路種類別では集計しないで下さい。	整数	半角数字	5 字以内	51												
4	評価結果 (全体)	先に、下記「5」「6」に従って、「近接空間」「非近接空 間」別の環境基準達成状況の評価結果を、道路種類別に集計し て下さい。 次に、「評価結果 (全体)」として、「5. 評価結果 (近接空 間)」「6. 評価結果 (非近接空間)」別の環境基準評価結果を合 計し、下記の分類に従って、道路種類別に住居等戸数及び割合 を記入して下さい。	整数	半角数字	9 字以内	11, 377 (戸数)												
		実数	半角数字	5 字以内 (小数点以下 第 1 位まで)	82. 0 (割合)													
		<table><tr><th>欄</th><th>記入内容</th></tr><tr><td>住居等戸数 (①+②+③+④)</td><td>①～④の合計値 (道路種類別の住居等戸数)。</td></tr><tr><td>昼夜とも基準値以下 (①)</td><td>昼間及び夜間とも環境基準値 以下の住居等戸数及び割合</td></tr><tr><td>昼のみ基準値以下 (②)</td><td>昼間のみ環境基準値以下の住 居等戸数及び割合</td></tr><tr><td>夜のみ基準値以下 (③)</td><td>夜間のみ環境基準値以下の住 居等戸数及び割合</td></tr><tr><td>昼夜とも基準値超過 (④)</td><td>昼間及び夜間とも環境基準値 を超過する住居等戸数及び割合</td></tr></table> ※ 昼間は午前 6 時～午後 10 時、夜間は午後 10 時～午前 6 時 です。	欄	記入内容	住居等戸数 (①+②+③+④)	①～④の合計値 (道路種類別の住居等戸数)。	昼夜とも基準値以下 (①)	昼間及び夜間とも環境基準値 以下の住居等戸数及び割合	昼のみ基準値以下 (②)	昼間のみ環境基準値以下の住 居等戸数及び割合	夜のみ基準値以下 (③)	夜間のみ環境基準値以下の住 居等戸数及び割合	昼夜とも基準値超過 (④)	昼間及び夜間とも環境基準値 を超過する住居等戸数及び割合				
欄	記入内容																	
住居等戸数 (①+②+③+④)	①～④の合計値 (道路種類別の住居等戸数)。																	
昼夜とも基準値以下 (①)	昼間及び夜間とも環境基準値 以下の住居等戸数及び割合																	
昼のみ基準値以下 (②)	昼間のみ環境基準値以下の住 居等戸数及び割合																	
夜のみ基準値以下 (③)	夜間のみ環境基準値以下の住 居等戸数及び割合																	
昼夜とも基準値超過 (④)	昼間及び夜間とも環境基準値 を超過する住居等戸数及び割合																	
5	評価結果 (近接空間)	環境基準達成状況の評価の対象となった住居等のうち、近接空 間に属するものについて、「4. 評価結果 (全体)」の項目に示す 分類に従い、道路種類別に住居等戸数及び割合を記入して下さい。 また、全体の合計値も記入して下さい。	整数	半角数字	9 字以内	8, 012 (戸数)												
			実数	半角数字	5 字以内 (小数点以下 第 1 位まで)	80. 0 (割合)												
6	評価結果 (非近接空間)	環境基準達成状況の評価の対象となった住居等のうち、非近接 空間に属するものについて、「4. 評価結果 (全体)」の項目に示 す分類に従い、道路種類別に住居等戸数及び割合を記入して下さい。 また、全体の合計値も記入して下さい。	整数	半角数字	9 字以内	3, 365 (戸数)												
			実数	半角数字	5 字以内 (小数点以下 第 1 位まで)	86. 7 (割合)												

様式 3-2 環境基準達成状況の評価結果の総括表（市区町村別）

令和3年度常時監視に基づき実施した、自動車騒音に係る環境基準達成状況の評価結果（面的評価）について、様式 1-1 及び様式 1-2 に記入した内容に基づき、貴管内の市区町村別に集計した結果を記入して下さい。（様式 1-2 に記載された重複計上分を減じてください）

No .	項 目	記入要領	記入フォーマット															
			型	使用文字	文字数	記入例												
1	一連番号	市区町村ごとに一連番号を記入して下さい。 ※「統計に用いる標準地域コード（総務省発行）」のコード番号とは異なります。	整数	半角数字	5 字以内	2												
2	市区町村名称	市区町村の名称を記入して下さい。	文字	全角かな漢字	10 字以内	茅ヶ崎市												
3	評価区間延長	市区町村ごとの評価区間延長(km)を、小数点以下第 1 位まで記入して下さい。	実数	半角数字	5 字以内 (小数点以下第 1 位まで)	23.8												
4	評価区間数	市区町村ごとの評価区間数を記入して下さい。	整数	半角数字	5 字以内	18												
5 , 8	評価結果 (全体)	先に、下記「6,9 評価結果（近接空間）」「7,10 評価結果（非近接空間）」別の環境基準達成状況の評価結果を、市区町村別に集計して下さい。 次に、「5,8 評価結果（全体）」として、「6,9 評価結果（近接空間）」「7,10 評価結果（非近接空間）」別の環境基準達成状況の評価結果を合計し、下記の分類に従って、市区町村別に住居等戸数及び割合を記入して下さい。 <table border="1"><thead><tr><th>欄</th><th>記入内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>住居等戸数（①+②+③+④）</td><td>①～④の合計値 （市区町村別の住居等戸数）。</td></tr><tr><td>昼夜とも基準値以下（①）</td><td>昼間及び夜間とも環境基準値以下の住居等戸数及び割合</td></tr><tr><td>昼のみ基準値以下（②）</td><td>昼間のみ環境基準値以下の住居等戸数及び割合</td></tr><tr><td>夜のみ基準値以下（③）</td><td>夜間のみ環境基準値以下の住居等戸数及び割合</td></tr><tr><td>昼夜とも基準値超過（④）</td><td>昼間及び夜間とも環境基準値を超過する住居等戸数及び割合</td></tr></tbody></table> ※ 昼間は午前 6 時～午後 10 時、夜間は午後 10 時～午前 6 時です。	欄	記入内容	住居等戸数（①+②+③+④）	①～④の合計値 （市区町村別の住居等戸数）。	昼夜とも基準値以下（①）	昼間及び夜間とも環境基準値以下の住居等戸数及び割合	昼のみ基準値以下（②）	昼間のみ環境基準値以下の住居等戸数及び割合	夜のみ基準値以下（③）	夜間のみ環境基準値以下の住居等戸数及び割合	昼夜とも基準値超過（④）	昼間及び夜間とも環境基準値を超過する住居等戸数及び割合	整数 実数	半角数字 半角数字	9 字以内 5 字以内 (小数点以下第 1 位まで)	11,377 (戸数) 82.0 (割合)
欄	記入内容																	
住居等戸数（①+②+③+④）	①～④の合計値 （市区町村別の住居等戸数）。																	
昼夜とも基準値以下（①）	昼間及び夜間とも環境基準値以下の住居等戸数及び割合																	
昼のみ基準値以下（②）	昼間のみ環境基準値以下の住居等戸数及び割合																	
夜のみ基準値以下（③）	夜間のみ環境基準値以下の住居等戸数及び割合																	
昼夜とも基準値超過（④）	昼間及び夜間とも環境基準値を超過する住居等戸数及び割合																	
6 , 9	評価結果 (近接空間)	環境基準達成状況の評価の対象となった住居等のうち、近接空間に属するものについて、「評価結果（全体）」の項目に示す分類に従い、市区町村別に住居等戸数及び割合を記入して下さい。また、全体の合計値も記入して下さい。	整数 実数	半角数字 半角数字	9 字以内 5 字以内 (小数点以下第 1 位まで)	8,012 (戸数) 80.0 (割合)												
7 , 10	評価結果 (非近接空間)	環境基準達成状況の評価の対象となった住居等のうち、非近接空間に属するものについて、「評価結果（全体）」の分類に従って、市区町村別に住居等戸数及び割合を記入して下さい。また、全体の合計値も記入して下さい。	整数 実数	半角数字 半角数字	9 字以内 5 字以内 (小数点以下第 1 位まで)	3,365 (戸数) 86.7 (割合)												

※ 住居等戸数の算出にあたっては、様式1-2【参考】を参照してください。